

事業所名

発達支援ユニコーンこしじ教室

支援プログラム

作成日

2025年

3月

28日

法人（事業所）理念	「ひと」と「ひと」の縁を大切に 高い信頼と確かな質の提供を							
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> ・言語聴覚士、理学療法士、作業療法士、公認心理士、保育士等を配置し、専門的な視点から利用者の特性に合わせた個別の対応 ・神経心理学検査を通し根拠ある支援 ・集団生活への適応と心の支援 ・日常生活能力の向上 							
営業時間	9時	分から	18時	分まで	送迎実施の有無	あり		
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・全身状態の把握を行い、異常の早期発見・対応 ・健康の増進（運動・ストレッチ・ダンス） ・基本的な生活スキルの獲得（時間に応じた行動の切り替え・構造化したスケジュール管理・活動を通して他者との関わり・視覚支援として分かりやすいよう掲示する） ・トイレトレーニング・着替え 						
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・身体機能の維持・向上 ・感覚統合（聴覚・前庭覚・固有受容覚・触覚・視覚等の五感に対する感覚刺激を入力）バランスを取る・走る・ジャンプ・バランスボール 						
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・空間・時間・数等の概念形成の習得 ・絵カードによる視覚支援 ・タイマーを使用した時間の感覚や切り替えを促す ・学習支援（個別に対応した課題や教材を使用） ・視空間認知トレーニング（物の位置や向きを認識する力・見たものの全体像を認識出来る力の向上を図る） ・聴覚記憶トレーニング（注意機能の向上・音と字形の結び付きである音韻意識を鍛える） 						
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・三項関係で、共同注意や社会性、創造性などの発達を促す ・指差し、身振り手振り、絵カード等の活用 ・口腔体操・発声練習 						
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・ラポール形成(相手との信頼関係や共感を築き、良好な人間関係を保つ) ・行動の言語化・感覚機能や運動機能を使った遊びを通して社会性の発達を促す ・活動やイベントを通して集団生活で手順やルールを理解し、集団活動に参加出来るよう支援する 						
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に支援場面の観察や参加等の機会を提供した上で、利用者の特性や特性を踏まえた利用者への関わり方等に関して相談援助を行う ・支援後の様子について送迎時や電話等で支援内容を伝える ・定期的に面談を行い、利用者の成長や課題に対して話し合う ・保護者会を行い、講義や情報共有を行う 				移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や相談支援事業所等と連携を取り、次のライフステージに対しての相談援助や情報共有を行う ・将来的な移行を見据えた目標や支援内容を設定 		
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援事業所等の地域事業所へ連絡・情報共有 ・医療機関との情報連携や調整 ・地域行事への参加 				職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修・内部研修 ・虐待防止・身体拘束研修 ・行事の企画・立案 		
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・季節のイベント ・地域住民が参加出来る行事 							